

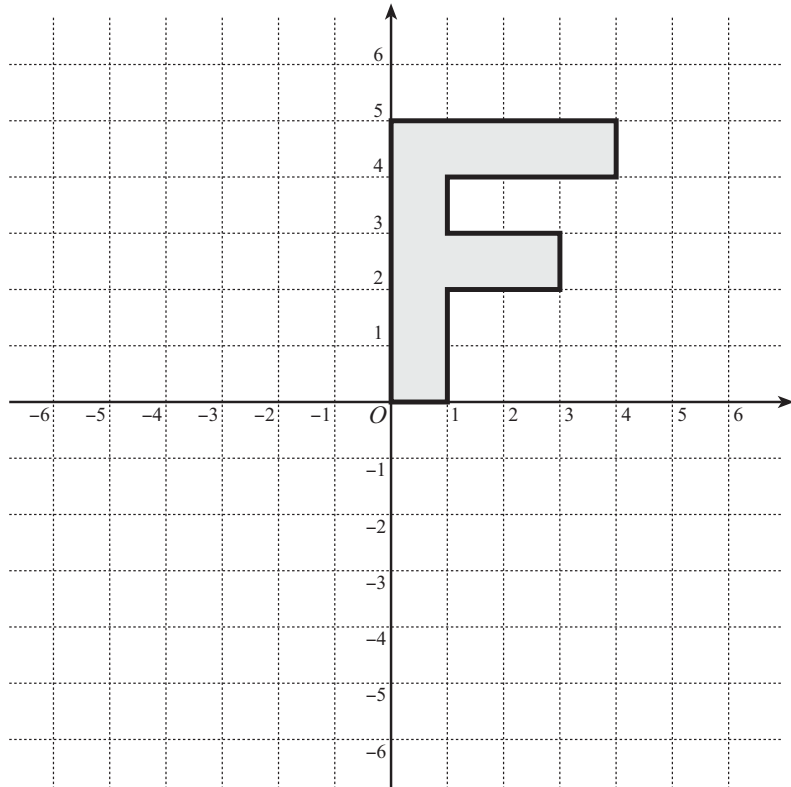
1 行列  $A = \begin{pmatrix} 1 & -1 & -2 \\ -1 & -2 & -1 \\ -2 & -1 & 1 \end{pmatrix}$  とし, 行列  $A$  を用いて  $\vec{x} \mapsto A\vec{x}$  で定義される線形変換を  $f_A$  とする. このとき, 1 次同次方程式  $A\vec{x} = \vec{0}$  の解全体の集合

$$V = \{\vec{x} \in \mathbf{R}^3 \mid A\vec{x} = \vec{0}\}$$

は  $\mathbf{R}^3$  の部分空間であることはすでに示した. この部分空間を線形変換  $f_A$  の核 といひ,  $\text{Ker } f_A$  で表す.  $\text{Ker } f_A$  の基底を求めよ.

2)  $A = \begin{pmatrix} \frac{2}{5} & -\frac{4}{5} \\ -\frac{3}{10} & \frac{3}{5} \end{pmatrix}$  とし, 行列  $A$  により定義される 1 次変換を  $f_A$  とする.

a)  $f_A$  によって「F」の文字がどのように変換されるか? 「F」の各頂点の移る点を図示せよ.



b)  $f_A$  の像  $\text{Im } f_A$  と核  $\text{Ker } f_A$  の基底をそれぞれ求めよ.

3]  $\mathbf{R}^4$  のベクトル  $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$  を

$$\vec{a}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 6 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_3 = \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ -4 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \vec{a}_4 = \begin{pmatrix} -1 \\ 3 \\ 4 \\ 2 \end{pmatrix}$$

と定義し,  $A = (\vec{a}_1 | \vec{a}_2 | \vec{a}_3 | \vec{a}_4)$  をこれらの列ベクトルを並べてできる 4 次の正方行列とする. また,  $f_A$  を  $f_A(\vec{x}) = A\vec{x}$  で定義される  $\mathbf{R}^4$  から  $\mathbf{R}^4$  への線形写像とする. このとき, 以下の問いに答えよ.

- 行列  $A$  の階数を求めよ.
- $\vec{a}_1, \vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$  は一次独立かどうかを判定せよ. 一次従属であれば, これらのベクトルの間の一次関係式を求めよ.
- $\vec{a}_1$  は  $\vec{a}_2, \vec{a}_3, \vec{a}_4$  の一次結合として表わせる否かを判定せよ.
- $f_A$  の像  $\text{Im } f_A$  および核  $\text{Ker } f_A$  の基底をそれぞれ一組ずつ求めよ.

